

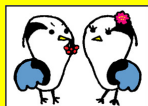
～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 26 年 10 月 27 日 (NO.34)

浦幌町教育委員会

浦幌地区コーディネーター委員会



北広島市立西部小視察

10月8日、小中一貫・コミュニティスクールの先進校北広島市立西部小学校を視察しました。

北広島市では、西部地区をひとつのモデルケースとし、順次、全市に小中一貫CSを広めていこうとしています。

■北広島市の小中一貫CS教育 北広島市の小中一貫CS教育は、三カ年計画（H25～H27）で進めている。まずは最終的なCSの目標を設定し、その目標に向けて準備を行っていた。

【CSの目標】 1、学校・家庭・地域の協働による子育て意識の拡大

2、めざす子ども像（心豊かに 大志をいただき たくましく 生きる子ども）にせまる活動

[小中一貫に関わって] 小中9年間を見通し、小中共通の学校目標を設定し、教育課程の編成、学力向上・改善プランの交流、体力向上、生活規律の統一、出前授業など授業交流も進めている。

[CSに関わって] 1年目はCS組織体制の確立と部会組織の決定、学校運営協議会に関する規則の作成、CS概要版のパンフレット作成を行い、2年目はCS活動PR版発行や学校説明会の実施や、地域カレンダーの充実など広報活動を充実させながら、学校経営の地域参画の工夫改善を行っている。3年目には学校地域公開や地域防災訓練、地域素材を生かしたキャリア教育など地域一体感の醸成をテーマに取り組む予定である。

■本視察を通して

- ・CSを導入するにあたり、「みんなでよく考えて、知恵を出し合い、言うべきことをしっかり言い合う」熟議の方法を用いており、学校だけでは解決できないものがCSで解決されたり、学校や教職員の職場環境が地域に伝わることで、支援の輪が拡大され苦情等も減少してきている。
- ・学校が地域の核になっており、地域の方が使うスペースなど公民館的な要素も持ち合わせており、学校の環境が地域の方々に自然に伝わるようになってきている。
- ・本町で取り組んでいる小中一貫教育と同じ内容のものが多くあり、この取組を続けていくことが地域一体となったCSにつながっていくのではないかと感じた。
- ・また、小中一貫教育を支えるのがCSととらえると、現在の本町での取組（学校支援実行委員会等）を効率化・組織化することによってさらに発展していくのではないかと感じた。

